

前回6月19日の例会記録

出席の状況

会員数 55名 (内出席免除 2名) 出席者数 45名 欠席者数 10名
出席率 83.33% 前々回訂正 83.33%
欠席者 相原, 原田, 加戸, 鴨井, 金子, 川本, 木本, 大賀, 横山, (渡辺)

ビジター 〈岡山RC〉貝畑 雅二 様、岡本 典久 様

S.A.A.

岩本・川西・岡本(浩)・岡本(和) 会員：アメリカ東海岸の観光を兼ねて、アトランタで開催された国際大会に参加しました。ボストンでは歴史ある街並みとハーバード大学を主に観光、世界経済の中心と人種のつぼのニューヨークでは摩天楼の展望とミュージカルの鑑賞、地下鉄乗車も経験しました。ワシントンDCでは、広大な敷地に配されたホワイトハウスや議事堂を中心に、週末の静かな中にも世界政治の躍動を感じました。また三都市の美術館では、多くの名画を直に見ることができ、殊に夫人達は感激していました。国際大会をはさんで、地区ナイトと日本人朝食会、東京ナイトに参加し交流の機会をもちました。国際大会は巨大な建物に世界より4万人を越すロータリアンが集まり開催されました。言葉の壁がありましたが、声を掛けられることが多く、国際大会ならではの雰囲気味わって全員無事日本に帰ってきました。

岩本会員：ロータリー年度もあと10日ばかりとなりました。昨日、米子皆生温泉で最後のガバナー補佐会と慰労会があり、事実上私の役割は終了いたしました。年度中は公式訪問地区大会、中でもIMの実施の際には皆様に大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

高橋会員：今年度 後一回例会が残っていますが、どうやら100%出席出来そうです。担当に内緒でお聞きしたら、賞状の他に副賞も出るとの事。前もってスマイルしておきます。

氏房会員：会員皆様には、今年度S.A.A.として大変お世話になりました。

西岡会員：先週例会を欠席しましたので、スマイルします。

・6月9日高松西RCに訪問して、野球の試合の申込みをしてきました。

竹本会員：昨日、プロポーションコンテスト西日本大会が大阪国際会議場であり、私のサロンから6名が出場致しました。その内1人が優勝し全国大会に西日本代表として出場決定致しました。スマイル致します。

8件 44,000円 (累計 1,492,000円)

会長報告

会長 岡本 和夫



国際大会に参加して

岩本、川西、岡本(浩)会員、そして私とそれぞれの奥様方を加えた8名がアメリカの東海岸の観光を兼ねて、アトランタで開催されました2017年ロータリー国際大会に参加しました。アトランタは1996年にオリンピックが開催され、またノーベル平和賞を受賞したキング牧師の生誕地、そして「風とともに去りぬ」の生まれた地であり、コカ・コーラやデルタ航空の本社のあるジョージア州の州都であります。ジョージア・ワールド・コンGRESSセンターという日本では到底見ることでできない巨大な建物に、世界中より4万人を越すロータリアンが集結し、「アトランタで一緒に祝おう」をスローガンに5日間開催されました。11日の開会本会議は午前と午後の2回にわけて行われ、私たちは午後9時(15:30~18:00)に参加しました。100周年の鐘の紹介と開会宣言に続いて、プロの女性歌手によるアメリカの国歌斉唱、国際大会委員長ほか2名の歓迎の辞、国旗入場式、ジョンF・ジャームRI会長と家族の紹介、RI会長の歓迎の辞、そして後半は女性歌手の歌やアトランタポップスによる演奏と大いに楽しみました。開会式前には「友愛の家」で昼食をとりながら、同席した他国のロータリアンと東の間の親睦の時をもつことができました。翌12日には、ビル・ゲイツ氏の基調講演や「現代における奴隷の終焉」のパネル発表があったようですが、オプションツアーに参加したため聴くことができていません。遠路はるばる年に一度の国際色豊かな大会に参加し、グローバルでオープンなロータリーを肌で感じることができ意義深い旅行となりました。来年はトロント、再来年はハンブルクで開催されます。皆さんも参加されることをお勧めします。

幹事報告

幹事 末吉 賢多



- ① ハイライトよねやま207号、他クラブ週報を回覧いたします。
- ② 6月25日(日)、家族親睦旅行にご参加の皆様はよろしくお願ひいたします。
- ③ 6月26日の例会は、100%ホーム出席表彰とスマイル上位者表彰を行います。皆様出席をよろしくお願ひいたします。
- ④ 6月22日18:30より「割烹 津山」にて第13回歴史同好会を開催致しますので、出席予定の方はよろしくお願ひ致します。

ひな壇退任挨拶

副会長退任挨拶

副会長 竹本 千代子



岡本和夫会長から指名いただいた一年前は、私に副会長が務まるかどうか、不安ばかりが先に立っておりました。十分に務めを果たせたかどうかは疑問ですが、私としては貴重な経験をさせていただいたと、今ではご指名いただけた事に心から感謝しております。

副会長は、会長不在の折に会長の代行をするという役目がありますが、今年度は2度、そのような場面がありました。一度目の5月22日には、上手く点鐘が出来るかどうか、副会長報告は何をお話して良いのかなど、心配しながらの報告でした。二度目の6月12日には、岡本会長、岩本ガバナー補佐、川西友好クラブ委員長、岡本親睦活動委員長が国際大会へご出席された日でしたので、榎野博史岡山大学学長に外部卓話をいただいたのにもかかわらず出席者が少なく、大変申し訳なく又、非常にもったいないと思いました。

ふり返れば、今年度は創立会員の南葉会員、梶谷会員がご逝去され、岡山北西ロータリークラブにとって大変な痛手でした。

プログラム委員会としては、平松プログラム委員長の幅広い人脈と岡本会長、末吉幹事のおかげにより、興味深くまた意義深いプログラムが出来たと思っております。親睦活動は岡本親睦活動委員長、家守家族部会委員長のご尽力で、目新しく楽しい催しになったと感じております。会報部会は日笠委員長をはじめ会員皆様のお陰で、とても良い週報を読ませていただきました。

第3回目を迎えた高校生による「岡山の歴史・文化研究フォーラム」は年々回を重ねるごとに、小松原青少年奉仕委員長をはじめ会員の総力をあげて、素晴らしく有意義な発表会になり大変嬉しく思いました。

副会長の役目の一つであります夜間例会の最後の挨拶は、言葉たらずの挨拶になったかと思っておりますがご容赦下さい。会長をはじめ、ひな壇の皆様、会員皆様の寛容な精神に助けられ一年を過ごす事が出来ました。ここにあらためて感謝いたします。本当に有難うございました。

副幹事退任挨拶

副幹事 児島 正典



司会というものがどう言うものか分からないままに始まった副幹事の務めですが、何とか無事に終わりを迎えることが出来そうです。会員の皆様のご協力のおかげであると、深く感謝致しております。拙い司会ですので、毎週の例会にあたっては、しっかりと準備して臨むようにしました。これだけは、1年を通して出来たと自負しております。また、例会は厳格さの中に楽しさがあるものとして、例会が厳格なものとなるように意識して司会をしてきたつもりです。

1年間の例会を振り返ってみますと、誕生月の代表者のスピーチや創立記念例会でのリリーススピーチなど、多くの方々にスピーチをして頂きました。また、内部卓話も先輩会員の方々に多く卓話をして頂きました。私は入会して4年になりますが、今までお話を聞く機会のなかった先輩方のお話を多く聞くことが出来た1年でした。また高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラムの司会もさせて頂きました。高校生の探究心の深さ、また、真剣に発表に臨む姿には頭の下がる思いでした。司会を一緒にさせて頂き、準備にご尽力頂いた小松原会員に深く感謝致します。

皆さんがこの1年で最も心に残った例会は、各会員様々なのではないかと思えます。それは即ち誰か特定の会員ではなく、会員皆で作上げた例会であったからであると思えます。就任挨拶では、退任の時にはどうなっているのだろうという事を話しましたが、就任挨拶では絞り出すように考えた挨拶が退任にあたっては、語るべきたくさんの事があるように思えます。それはこの1年間の活動が実り多きものであったことの証であると思えます。

1年間拙い司会にお付き合い頂きまして、ありがとうございました。

S.A.A.退任挨拶

S.A.A. 氏房 信明



皆様一年間大変お世話になりました。

S.A.A.就任から今日まで初めてのひな壇ではありましたが、皆様の協力の御蔭で何とか一年を終える事が出来ました。S.A.A.の主な任務の一つとして例会運営、それからクラブの重要な財源となるスマイルの目標達成がありました。例会運営につきましては、皆様の出席態度、マナーともに良識ある振舞いでスムーズに運営出来ました事に感謝しております。

もう一つのスマイルに関しても、皆様の協力の御蔭で多額の金額にも関わらず、目標額を達成出来ました事にも感謝しております。又スマイル報告では、不手際も有ったかと思っておりますがこの場をお借りしてお詫び致します。

いずれにしてもS.A.A.としての任務は、会員皆様の協力、連携により果たせたものと感謝しております。

この経験を今後のロータリー活動で生かしていけたらと思っております。最後になりましたが岡本会長をはじめひな壇の皆様には、大変協力して頂き有難うございました。以上で退任の挨拶とさせていただきます。

副S.A.A.退任挨拶

副S.A.A. 仲田 錠二



岡本会長から副S.A.A.の打診を受け、就任して早いものでもう一年です。皆様のお陰でスマイルの方も無事達成できました。この場をお借りして御礼申し上げます。

副S.A.A.とはスマイルを読むのは分かっていたのですが、それ以外に何をやるんだらうと、会場監督とは?ロータリー歴の長い方や年上の方を私が注意?なかなか難しそうなのでとりあえず早く来ることだけでも心がけました。スマイルを読むのも声を出してだとも難しく、早口になったり間違っただり、人前で喋るのが苦手な自分は大勢の前でしゃべる良い勉強になりましたが、皆様にはご迷惑をお掛けしました。

ひな壇になったことで理事役員会に参加するようになり、全体の流れや言葉の意味も少しずつ分かって来て、自主的に楽しく参加できるようになりました。「たかがロータリー、されどロータリー」と言う言葉を時折聞きますが、その意味がだんだん理解できてきたので、これからも誰一人欠けることなく全員が気持ちよく参加できるクラブであるよう、微力ながら努力していこうと思います。

クラブ情報

備前ロータリークラブ創立45周年記念例会

幹事 末吉 賢多

6月16日(金)ANAクラウンプラザホテルにおいて、備前ロータリークラブが、創立45周年記念例会・祝宴を盛大に開催され、我クラブより、岩本ガバナー補佐・岡本和夫会長・末吉が出席させていただきました。



寄稿文「戦艦大和と日本」④

藤岡 温 会員

(続「戦艦大和と日本」)

(パート4)鉄の墓標

昭和20年3月10日の東京大空襲のように国民が直接攻撃にさらされ、航空機も特攻にどンドンつぎ込まれ、島嶼戦地での玉砕も続いていた状況のなかで、高角機銃を針山のように大增設した大和をどうするか。

「敗戦」というあってはならない現実を目前にして、切羽詰まった海軍上層部に冷静な結論をもって決着させる余力は残っていなかった。

「非常な税金を使って無敵の戦艦を作り、無敵無敵と宣伝した大和を柱島あたりに繋いだままで、生き残ったまま戦争に負けたとしたら、何と国民に説明するのか。」との強硬論(神主席参謀)が最後は通った。

海上特攻を決断した4月5日当時の豊田長官も成功の算についてうまく行ったら奇跡だった、仕方なかったと戦後に述懐している。沖縄に着く見込みも沖縄に着いてからの成果も現実の期待は限りなくゼロであった。もはや「作戦」ではない。

生き恥さらすな、死んで来いというのはたやすい。しかし、大和の生き恥(野ざらし)と3000名余りの乗組員の命とは別物である。死に地を求めた鉄の墓標とともに海底に沈んだ彼らの命は何であったのか。もって瞑すべしである。

以上

例会情報

本日のメニュー (6月26日)

シーフードのサラダ トマトのジュレを添えて 牛フィレ肉のロースト ガーリックでつないだラトウイユ
デザート コーヒー パンとバター

次回のメニュー (7月3日)

焼物八寸(葉皿盛り) 猪口(陸蓮根おかか和え) 鱈塩焼、酢橘 剎亭玉子 もろこし土佐煮 貝柱若狭焼 茗荷酢取り
小鉢 穴子南蛮漬 菊花 造り 二種盛り 妻一式 県産昔醤油
焚合 鱧の玄米揚げ ベッ甲餡 加茂茄子素揚げ 甘長獅子唐素揚げ 山葵
御飯 白御飯(岡山県産こしひかり) 赤出汁 三種盛り 香の物 三種盛り